

Close-up

“わくわく”を届け続けたい

## イタグレ服のLunetta



「特別な日に着せたい服」をコンセプトとした、イタリアングレーハウンド専用服のブランド。主にECサイトでシーズンごとにトレンドを意識した、上品で洗練された旬のデザイン服を作り続けています。

### （イタリアングレーハウンドの魅力）

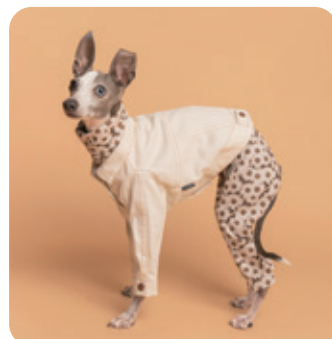
「イタグレ」の愛称で知られる、イタリア原産の小型犬。スタイリッシュな見た目でありながら、性格は温厚で愛情深く、甘えん坊な一面もあり、そのギャップに魅了されるオーナーも多いといえます。お出かけも一緒に楽しめる、日本でも人気の犬種です。

### （おしゃれで、着心地のよい服を）

デザイン性はもちろん、イタグレにとっての着心地のよさ、動きやすさも追求しています。犬の体にフィットするようサイズ展開やパターンメイキングにこだわり、実際に一つの服を作るために100匹以上を採寸し、10回以上サンプルを作り直したこともあるそう。愛犬もオーナーも大満足できるクオリティを提供しています。

### おそろいコーデを楽しもう

今後は、オーナーさんの服と合わせて着られる「おそろいコーデ」アイテムも企画していきます！



### INFORMATION

イタグレ服のLunetta

創業 | 2020年  
Instagram | @lunetta.ig



## あなたの夢を公的保証でバックアップ！



東京信用保証協会では、創業を予定している方から創業して間もない方までを対象に「金融支援」と「経営支援」の両面から継続的な支援を行っています。

多様化する创业者のニーズにきめ細やかに対応するため、まだ明確なビジネスモデルをお持ちでない方や、すでに具体的な行動を起こされている方など、状況に合わせたサポートメニューを用意し、支援体制の充実に取り組んでいます。

### 〈金融支援〉保証申込・相談窓口

当協会は、創業時や創業後に金融機関の融資を受ける際に公的な保証人となって、借入をスムーズにし、企業の成長を金融の面からサポートしています。東京都内11支店※に創業支援窓口「創業アシストプラザ」がございます。

担当地域制をとっていますので、法人（設立予定を含む）の方は本店または事業所の所在地、個人の方は住居または事業所の所在地を担当する窓口にお気軽にご相談ください。

※詳しくは当協会ホームページをご覧ください。

### 〈経営支援〉創業者向けセミナー・スクール

#### 創業スクール

都内で創業予定の方で具体的な創業プランをお持ちの方を対象とした、週1回全6回のスクールです。外部講師を招き、講義・個人ワーク・グループ演習を毎回行うことで、資金調達の際などに、「人に見せて話せる」創業プランの作成を目指します。

また、当協会の職員がアドバイザーとなり、講師と一緒に創業計画のブラッシュアップをサポートします。創業時に、借入による資金調達をお考えの方に特におすすめです。

#### 創業セミナー

中小企業診断士・税理士・弁護士等の専門家を講師に招き、創業時に役立つ知識や創業ノウハウを学べるセミナー、先輩起業家の体験談、女性の起業を後押しする女性限定セミナー等、様々な切り口から事業に役立つセミナーをご用意しています。当協会職員による保証協会ミニセミナーや個別相談会も実施しており、創業に際して資金調達を検討している方や創業後に経営のヒントを得たい方にも最適です。

#### 専門家派遣

当協会の保証をご利用いただいているお客さまで創業から間もない方を対象に、中小企業診断士等の専門家派遣を行っています。ご自身で作成した計画をもとに実際に創業してみると、思うように事業が軌道に乗らないことや、予想していなかった課題が浮上することがあります。専門家がお客さまのもとに直接訪問し、当初の計画を見直すことで、現状の課題を洗い出すとともに、その解決に向けた改善策についてアドバイスを受けることができます。

START-UP STORY

〈発行〉東京信用保証協会 経営支援部 2024年6月  
〈WEB〉<https://www.cgc-tokyo.or.jp>



# Start-up Story

創業からはじまる、新しい未来。

INTERVIEW

ルネッタ  
イタグレ服のLunetta  
代表・企画・デザイナー  
佐藤理沙さん



TOKYO GUARANTEE 東京信用保証協会



ドッグウェアの企画・生産・販売で起業

# 創業で叶える 理想の暮らし

それまでプライベートで愛犬イタリアングレーハウンドの洋服を手作りしていた佐藤理沙さん。

この犬種に特化したドッグウェア事業にニーズを感じ、創業を決意。現在は、愛犬がそばにいる環境で好きな仕事ができる幸せをかみしめているという佐藤さんに、創業の歩みや喜び、今後の展望についてお聞きました。



イタグレ服のLunetta  
代表・企画・デザイナー  
佐藤理沙さん  
Sato Risa

千葉県生まれ。アパレル業界に9年ほど勤務後、2020年イタリアングレーハウンドに特化したドッグウェアの企画・生産・販売を行う「イタグレ服のLunetta」を創業。自社ECサイトやイベント出店で販売。シーズンごとにトレンドを意識した新作デザインを発表し続け、イタグレオーナーから注目されるブランドへと成長している。



**MOVIE**

佐藤さんの  
創業ストーリーを  
視聴できる



## 得意と経験を生かせる ドッグウェアブランドを立ち上げ

2016年から実家でイタリアングレーハウンド(以下、イタグレ)という犬種を飼い始め、現在は私も飼っています。イタグレは毛が短く寒がり、冬は洋服が必須になるのですが、体型が特徴的なのでペットショップやホームセンターで売っているような服は着られません。私は裁縫や手芸が好きだったので、犬の洋服づくり教室に通い自分で作り始めたら、イタグレのオーナーさんに「その洋服、可愛いから作ってほしい」と頼まれることが増えていきました。イタグレのオーナーさんは、防寒用だけではなく、おしゃれな服を求めている方が多く、これはビジネスになるかもしれないと思ったのが創業のきっかけです。また、アパレルメーカーや繊維専門商社に勤務していたときに、生産・納期・品質管理等、一通り経験を積んでいたことも創業する自信につながりました。

## 独自のコンセプトで 競合他社と差別化

初めは経営のことは何も分かりませんでしたが、電車の広告で知った東京都中小企業振興公社が運営する「TOKYO創業ステーション」という創業支援施設で情報収集したり、セミナーに参加したりして経営について学んでいきました。1年ほど手作りの商品をフリーマーケットなどでテスト販売をした後、2020年2月に創業、同年10月、ECサイトをオープンしました。

Lunettaは、常に新しい服を作り、「わくわく」を届け続けることをブランドのコンセプトにしています。元々は、手頃な価格で可愛い商品をたくさん売るビジネスモデルを目指していましたが、セミナーで学んだことや中小企業診断士のアドバイスを参考にしながら創業計画書を作成する中で、競合他社とどう差別化を図るかを考えました。その結果、商品の品質やデザインを

重視し、常に新しい服を作り続けることで「わくわく」を届けたいというブランドコンセプトに至りました。

## 事業拡大を見据えて 区の制度融資を利用

創業から2年ほど経ち、販売数量を増やそうと考え、新たに資金を調達することにしました。創業時は日本政策金融公庫で少額の融資を受けましたが、追加調達は中小企業診断士の勧めもあり、金利の低い区の制度融資を利用しました。区の制度融資を利用するには、東京信用保証協会の保証を受ける必要があります。私の場合、融資希望金額が少し多かったので不安もありましたが、東京信用保証協会のご担当者が面談を通じて、私の熱意と事業の可能性を評価し保証支援を承諾してくれたと感じています。結果的に希望通りの金額の融資を受けることができ、ちょうど円安で苦しかったときでもあったので、本当にありがたかったです。

現在はECサイト以外にも、イタグレが

集まる野外のイベントに出店したり、自分で場所を借りてポップアップショップを開催することもあります。長期的な展望としては、自然豊かな故郷でドッグラン付きの店舗を持ちたいと考えています。最近は犬の健康にも関心があるので、店舗でマッサージやエッセンシャルオイルを使ったケアもできればと思い、勉強を始めています。

## 創業を目指す人に 伝えたいこと

創業すると、最初は孤独感や忙しさをくじけそうになることもあると思いますが、創業と理想の暮らしが同じゴール、同じ直線上にあれば、それがモチベーションにもなって頑張れると思います。私の場合、愛犬とずっと一緒にいられる環境で仕事ができる暮らしを叶えることができました。創業を目指す方は、ぜひ「やりたいこと、やれること、必要とされていること」が噛み合うようなプランを考えてみてください。実現したときの喜びや達成感は、大きいと思います。

ワンポイント  
アドバイス

## 「資金繰り」を意識した経営を

中小企業診断士の方から「経営者は『資金繰り表』を常に見て、資金が足りなくなったら、すぐに工面する方法を考えるのも大切な仕事」というアドバイスを受けて、創業時は2年分の「資金繰り表」を作成し資金計画を立てました。その後も経営がうまく

回るように常に資金繰りを意識していきました。経営者はいくつかの企画やデザインの方に頭が行きがちになりますが、余裕をもった資金繰りは本当に大切だと思います。皆さんも日頃から「資金繰り表」を細かくチェックすることをぜひ意識してみてください。

